

ふるさとの味

ここに来て、まさかの新型コロナウイルス感染症で公務は全部キャンセルとなってしまった大型連休。成人式など多くの行事に出席できず、誠に申し訳なく思っています。

療養期間中、つらかった症状が快方に向かうと、現金にも今度は時間を持て余すように。たまっていた新聞を読みだすと新潟日報一面のコラム「日報抄」に目が留まりました。魚沼の山菜「木の芽」の話。かの文豪 開高健も「上品な苦み」を至上の味と絶賛していた、と。自分が褒められているようなうれしさと同時にあることを思い出しました。

今年には行けませんでした。毎年4月29日～5月3日に山形県米沢市で開催される米沢上杉まつりに、来賓として歴史親善友好都市の代表数名が招かれます。南魚沼市は、米沢藩初代藩主の上杉景勝公と重臣 直江兼続公の生誕の地。祝宴の席では上越市長や会津若松市長などと同席の榮に浴しますが、ある時、「この地に落ち着いたお殿様たちは、癒された面もあったでしょうねえ」と言う私に「どんなところが？」

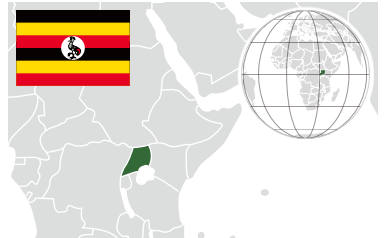
と米沢市長。「いつも思うのですが、当市と季節感がまったく同じなんです。草花の芽吹き具合や山の色、高山の残雪。魚沼と寸分違わない。私が見間違えうくらい」「この辺では木の芽は食べますか？」と続けると、居合わせた他の市長達は「何それ？」という顔をされたが、米沢市長だけが「あれはうまい」と間髪入れずに答えられた。この辺では米沢地域しか食べませんが、とも。関ヶ原の戦い後の米沢移封前の領地だった会津では食べないという。米沢に食文化が伝承されたのかなと酒間の話題になった次第。

話は変わりますが、この春、3年ぶりに当市出身のみなさんの首都圏会の総会も開催。久しぶりの面々にお会いできました。「市長に食べさせてやろうと思って取ってきた」と4月の初めで、まだ南魚沼では摘めない木の芽を会場に。お一人は川崎、もう一人は千葉の人。「おらどこの木の芽はなによだ？」と。気になる苦みの強さよりも、心遣いへの感謝と2人の故郷への思いに「うんめーない」。ふるさとを離れた人ほどその思いは強いものなのかもしれない。

国際大学留学生
お国自慢コーナー ～boast of my country～
ウガンダ共和国 アリニトゥエ ブレンダさんシリーズ
第122回

私の国はこんなところ

ウガンダは自然豊かな国で、「アフリカの真珠」と呼ばれています。英語が公用語ですが、50の民族がそれぞれの言語をもっています。観光の魅力はもちろん豊かな自然です。万年雪を頂くルウェンゾリ山地やビクトリア湖が有名で、チンパンジーなどの野生動物や珍しい鳥類を見ることができます。また、マウンテンゴリラの生息地であるブウィンディ原生国立公園や、高さ43mの滝、カバなど野生動物のいるマーチソンフォールズ国立公園もあります。主食のマトケ（青バナナ）は国内で広く栽培されていて、シチューと一緒に食べます。



南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼での思い出は、友人とよく早朝にウォーキングをしたことです。冬は歩けませんでしたが、季節の移ろいを楽しみました。大都会特有の喧騒がなく、穏やかで静かなこの街の環境は離れがたいほど好きです。

編集
後記

人事異動で4月から現在の部署となりました。早く仕事に慣れなければと、悪戦苦闘の日々で、気づけば2か月が過ぎていました。ここでリフレッシュということで、6月は時間を作って、市内の温泉を「お湯印帳」で巡りたいと思っています。(T. H)

今月の
表紙

5月14日(日)、大原運動公園ベーマスタジアムで市内中学校野球部を対象に、阪神タイガースOBの掛布雅之さん、読売ジャイアンツOBの岡崎郁さんによる野球教室を開催しました。参加者は元プロ野球選手から直接受けるレッスンを、楽しみながらも真剣に話を聞いていました。

市民の動き 令和5年4月末日現在 ()は対前月比

●人口 53,625人(-40)／男 26,258人(-6) 女 27,367人(-34) ●世帯数 20,295戸(+8)